

令和2年度  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)  
成果報告書

団 体 名	公益財団法人 宗像ユリックス	
施 設 名	宗像総合市民センター	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内 定 額 ( 総 額 )	14,606	(千円)
	公 演 事 業	11,047 (千円)
	人 材 養 成 事 業	2,149 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	1,410 (千円)

(1) 令和2年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	すくすくワンコインコンサート(3公演)	2年5月2日(中止)※ 2年11月15日 3年3月6日	5/2 緊急事態宣言中の為休館、中止。  出演者：11/15 えとおとスケッチ、 3/6 入江浩子、福田りゅうぞう、小沢かづと	目標値	1,200
		イベントホール		実績値	660
2	九管ポップスファミリーコンサート	2年10月4日※	コロナの影響により日程、会場変更。 出演者：九州管楽合奏団、オリタノポッタ、さえきまゆこ、はせがわ天晴、坪内晋司、富安美沙子	目標値	600
		イベントホール		実績値	216
3	World-class wind instrument player series ~世界レベルの管楽器奏者たち~ 「No Name Horses」、 「Slide Monsters(スライド・モンスターズ)」	2年6月5日(中止)※ 2年6月27日(中止)※	世界レベルの管楽器奏者たち 6/5 「No Name Horses」 6/27 「スライド・モンスターズ」 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止	目標値	1,250
		2年6月5日 イベントホール 2年6月27日 ハーモニーホール		実績値	0
4	宗像ミアーレ音楽祭 「九響と散策する名曲の小径」	2年9月27日	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為50%の入場制限。出演者：飯森範親、篠崎史紀、九州交響楽団	目標値	500
		ハーモニーホール		実績値	305
5	宗像ミアーレ音楽祭 「ミアーレ・ジュニア合唱団コンサート」・ 「市民ステージ」	2年9月6日(中止)※ 2年11月29日(中止)※	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止	目標値	2,900
		2年9月6日 ハーモニーホール 2年11月29日 イベントホール他		実績値	0
6	フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン	2年12月12日(中止)※	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止	目標値	500
		ハーモニーホール		実績値	0
7	ニューイヤー・コンサート2021 ウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラ	3年1月9日(中止)※	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止	目標値	500
		ハーモニーホール		実績値	0

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和2年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	
1	吹奏楽部生の演奏力向上 と交流促進による吹奏楽 活性化事業	令和2年7月～ 令和3年3月※	新型コロナウイルス感染症拡大防 止の為、有料コンサートは中止。ワ ークショップのみ開催。	目標値	1880+α
		市内各中学校・ ユリックス		実績値	480

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和2年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	すくすくコンサート	令和2年9月～ 令和3年3月	出演：中西久美・岡直美、宮原絵理・馬渡英子 他	目標値	900
		市内コミュニティ・センター		実績値	443
2	幼稚園・保育園、小学校を対象としたいきいき出前コンサート・ダンスワークショップ	令和2年8月～ 令和3年3月※	出演：九州管楽合奏団 木管五重奏 小学校は新型コロナウイルス感染症拡大による休校の影響により中止。	目標値	6,200
		市内幼稚園・保育園		実績値	1,245

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

自己評価
<p>社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p>
<p>◎（公財）宗像ユリックスのミッションと具体的な取り組み</p> <p>① ミッション：「スマイルキッズプログラム」</p> <p>子育て・教育の分野への継続的・体系的な事業展開による地域活性化とホールを支える顧客創造の具体的な取り組みとして、子どもの成長段階にあわせた事業展開を行う。</p> <p>「スマイルキッズプログラム」は、アウトリーチ・ワークショップ・ホールコンサートなどの子ども向け事業を体系的に組み立てたものであり、長期的に取り組むことで、公共ホールとしての使命を果たしていく。このブランディングを意識した取り組みは、長期的な顧客の受容促進につながり、貴重な経営資源になると考える。</p> <p>また、宗像ユリックスはすべての市民のための施設であることから、他の年代層への事業展開もバランスよく実施し説明責任を果たしていく。</p> <p>⇒令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から小学校、中学校でのアウトリーチ活動ができなかったが、開放空間を活用した未就園児向けコンサートの開催などコロナ禍での新しい形のアウトリーチを模索した。</p> <p>② ビジョン：“新しい一日のために”</p> <p>地域の人々の参加と共感を得ることにより、「新しい広場」としての宗像ユリックスを目指す。</p> <p>宗像市は、文化芸術がもつ力を政策に取り入れ、文化芸術の振興を通じた具体的なまちづくりを進めていくために、平成21年度に文化芸術振興条例を制定し、またこれを受けて「文化芸術のまちづくり10年ビジョン」を策定した。当財団はその基本理念である「文化芸術に親しめる環境整備」、「文化芸術のための人づくり」、「文化芸術を活かしたまちづくり」に沿った事業を展開し、役割を果たそうとしている。</p> <p>⇒コロナ禍において外出を控えている市民に対して、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点に重心をおきつつ、市民の心の支えとなるべく事業を開催し、地域の人々が安心して参加できる環境で共感を得ることを目指した。</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p>
<p>1) 公演事業について</p> <p>助成を受けたことで、コロナ禍の収容定員50%入場制限というマイナス要素が大きい中でも開催することができた。また、会場をハーモニーホール(622席)からイベントホール(2309席、今回のコンサート設定席数は500席)に変更し、ソーシャルディスタンスをとった新しい形での公演にチャレンジすることができた。すくすくワンコインコンサートに関しては、低価格でお届けしているため、基本的にホール近隣の演奏者を起用しているが、助成を受けることで関東圏の演奏者による公演も実現できた。</p> <p>2) 人材育成事業</p> <p>学校が自校ではできないことへのフォロー、またコロナ禍による合奏練習自粛など部活動の制限による吹奏楽部の疲弊を助成金の活用でフォローできたのは大きな成果だと思われる。</p> <p>3) 普及啓発事業</p> <p>コロナ禍においても積極的な協力体制を築けたのは、助成を活用して毎年続けてきた成果だと思われる。</p>

## (2) 有効性

### 自己評価

目標を達成したか。

#### 1) 公演事業

「地域の中核・音楽堂」としての目標を右記に掲げる。	質の高い実演芸術の創造・提供	市民の参加と創造	社会課題の解決	コロナウイルス感染症の影響
1, すくすくワンコインコンサート			○	臨時休館の影響により、3公演を2公演に変更
2, 九管ポップスファミリーコンサート			○	収容定員 50%入場制限に対応する為、会場を変更
3, 世界レベルの管楽器奏者たち	○	○		渡航禁止来日不可の為、中止
4, 九響と散策する名曲の小径	○			収容定員 50%入場制限にて実施
5, ミアーレ・ジュニア 合唱団 他		○		コロナウイルス感染症の影響で中止
6, フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン	○			渡航禁止来日不可の為、中止
7, ウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラ	○			渡航禁止来日不可の為、中止

#### 1) 公演事業

「質の高い実演芸術の創造・提供」、「市民の参加と創造」、「社会課題の解決」を目標に掲げ、しっかりとプロセスを踏みながら一つひとつの事業を実施していき、その結果として組織の目的である「顧客の創造」につなげていくことを目指していたが、海外アーティストの公演や全国レベルの公演が中止、市民参加型の音楽祭が自粛になるなど、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる事業が多く、市民に対して「地域の中核・音楽堂」としての公演事業を予定どおりには提供できなかった。

しかし、コロナウイルス感染症の影響で活動休止になっていた市民オーケストラ向けに本公演前日にワークショップを開催し、コロナ禍のモチベーションアップを図るなど市民に寄り添う対応を心掛けた。



MARO クリニック

#### 2) 人材養成事業

(吹奏楽部生の演奏力向上と交流促進による吹奏楽活性化事業)

新型コロナウイルス感染症の影響で、吹奏楽の合奏への風当たりが強く今年度はコンクールが中止となった。その目標へのステップであった「吹奏楽コンクール課題曲コンサート」「コンクール直前クリニック」も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。市民 500 人が参加する予定だった「吹奏楽 500 人コンサート」も中止となったが、吹奏楽クリニックは秋以降に時期をずらし開催した。

#### 3) 普及啓発事業

(すくすくコンサート、幼稚園・保育園・小学校を対象にしたいきいき出前コンサート・ダンスワークショップ)

小学校・中学校は臨時休校の影響で授業コマ数が不足アウトリーチは開催できなかったが、未就園児向けのアウトリーチ「すくすくコンサート」、幼稚園・保育園向けのアウトリーチは開催することができ、生の音楽に触れ合う機会が少なくなっている子ども達に元気を与えることができた。



すくすくコンサート

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

#### 1) 公演事業

事業番号 1 5/2 「すくすくワンコインコンサート」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により休館中の為中止、3公演予定のうち11/15、3/6の2公演開催

事業番号 2 8/22 「九管ポップスファミリーコンサート」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により10/4に延期して開催

会場をハーモニーホールよりイベントホールへ変更

事業番号 3 世界レベルの管楽器奏者たち 6/5「No Name Horses」 6/27「スライド・モンスタース」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

事業番号 4 9/27 宗像ミアーレ音楽祭「九響と散策する名曲の小径」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により収容定員50%の入場制限(311席)にて開催

事業番号 5 9/6 宗像ミアーレ音楽祭「ミアーレ・ジュニア合唱団コンサート」 11/29「市民ステージ」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

事業番号 6 12/12 「フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

事業番号 7 1/9 「ウィーン シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラ」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

#### 2) 人材養成事業

事業番号 1 5/30、5/31「吹奏楽コンクール課題曲コンサート」 7月「コンクール直前クリニック」

10/4「吹奏楽500人コンサート」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

#### 3) 普及啓発事業

事業番号 1 4/23「すくすくコンサートプラス」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により10/30「すくすくコンサート ピッコリーノ」に変更

事業番号 2 5月～10月「幼稚園・保育園でのいきいき出前コンサート」23園

新型コロナウイルス感染拡大の影響により8月～3月 19園に変更

## (4) 創造性

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

#### 1) with コロナだからこそ「安心・安全のコンサート」

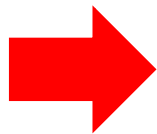
当財団は、本公演で演奏する九州で唯一のプロの吹奏楽団である九州管楽合奏団と連携協定を結んでおり、アウトリーチ事業やホールコンサートを行っている。

本公演前に、市内幼稚園・保育園に対して九州管楽合奏団のメンバーが編成を変えながら継続的なアウトリーチを実施しており、出演者が「音楽は楽しい」と感じた子どもたちへ本公演の告知を直接実施している。

例年、「本格的な音楽専用ホールで柔軟な感性を持つ子どもたちへ、音楽の素晴らしさ・楽しさを伝えたい」との趣旨から、ハーモニーホール(622席)にて開催していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、演奏者・コンサートへの来場者のディスタンスを守るため、九州管楽合奏団の協力を得ながら会場をイベントホール(2309席)に変更し、安心・安全のコンサートの開催を行った。



演奏者・鑑賞者のディスタンスの確保



令和元年ハーモニーホール(622席)

令和2年イベントホール(2309席)

#### 2) with コロナだからこそ「母親サポート」

スマイルキッズプログラム「すくすくコンサート」(対象:0歳から3歳までの未就園児とその母親)の活用による、コロナ影響下の母親サポートを考えつつの事業展開を行った。

昨年まで、各地区のコミュニティ・センターに訪問して開催していた「すくすくコンサート」だが、コロナの影響で外に出ることのできなかつた未就園児(0歳~3歳児 3,554人 宗像市人口比4%)をもつ母親の「社会的孤独感」や「子育てストレス」の解消方法としてアウトリーチ型に加えて、三密を避けながら参加できるハーモニーホール前ホワイエのオープンスペースでの「すくすくコンサート ピッコリーノ」を開催した。

ハーモニーホール前ホワイエのオープンスペースを活用した「すくすくコンサート ピッコリーノ」





## 自己評価

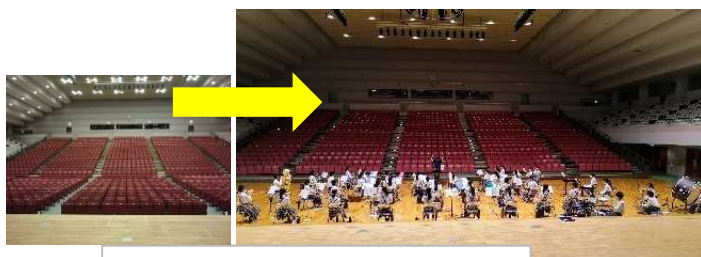
地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

当財団は、吹奏楽を地域の貴重な文化資源として捉え、その活性化を目的に関連事業を積み上げてきた。具体的には、市内の小学校3年生から6年生を公募して設立したユリックス・ジュニアブラス(平成26年設立・金管バンド・現在団員数17名)や、音楽祭では吹奏楽団500人コンサートを実施し、小学生、中学生、高校生、社会人、プロ演奏家の交流が活発になっており、さらなる活性化に向けた機運が高まっていた中での新型コロナウイルス感染拡大となった。

### 3) with コロナだからこそその「施設活用」

今年度の吹奏楽部は、新型コロナウイルス感染症の影響から学校での合奏練習は禁止となり、またコンクールも中止が決定したため3年生はそのまま引退となる厳しい状況となった。そこで、6月、7月、8月にユリックスイベントホールフロアを各学校の「合奏用練習会場」として開放。2mのディスタンスをとりながら感染対策を徹底し、合奏練習・指導の場として利用してもらった。

さらに引退する3年生最後の発表の場として保護者向けの「卒部コンサート」を開催。各学校の生徒、先生、保護者から大変好評であった。今回の利用方法をきっかけに地域の高校がイベントホールフロアにてディスタンスをとった定期演奏会を開催するなど with コロナの吹奏楽の在り方に新たな可能性を発見する機会となった。



ホールのフロアを活用した合奏練習



飛沫対策、ディスタンスの徹底

### 4) with コロナだからこそその「吹奏楽クリニック」

クリニックに関してはガイドラインに沿うことを前提としつつ、吹奏楽部の灯火を消さないための企画として状況に合わせ、当初の予定から計画変更しながら開催した。

学校への奏法指導(クリニック)は、通常各パートごとに1、2年生合同で行うが今年度は部活動開始が6月からと遅れたこともあり、1年生のレベルアップが課題となった。そこで各学年ごとに分けてレベルに合わせた奏法指導を行うなど通常よりきめ細やかなフォローを行った。

冬のクリニックは2回目の緊急事態宣言発令の影響で部活動の郊外活動が禁止となった為、学校訪問不可となってしまったが、緊急事態宣言解除後にユリックスでの市内中高合同クリニック・各学校の演奏会に変更し、開催。演奏する機会が激減している各吹奏楽部に演奏の機会を提供し、他校との交流や地域の中高生の交流を通じて学生たちのモチベーションアップを図った。



学校でのパート、合奏クリニック



各学校の演奏発表

## (5) 持続性

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

#### ◎with コロナだからこそ「持続的なアウトリーチ」

今年度の幼稚園、保育園へのいきいき出前コンサートは、新型コロナウイルス感染症の影響で春の開催が一旦中止となったが、コロナ禍においても各園からの開催希望が多く、秋に開催を再開した。長年にわたる良好な関係性から各園ともに人数制限（現在は年長のみ）、開催方法の変更などコロナ対策にも大変協力的であった。ある園からは「全園児に観てもらいたい」と園の映像機材を活用した「リモートライブ」の提案を頂き、園、演奏者の協力の下、年長、年中、年少を部屋で分けてリモートでのいきいき出前コンサートを開催した。幼稚園・保育園のアウトリーチは、宗像ユリックスと連携協定を結んでいる九州管楽合奏団が、子どもたちを飽きさせないように「吹奏楽団の特性」を活かし、金管、木管、サクソフォン、打楽器の各パートが毎年交代で訪問している。

九州管楽合奏団が定期的に訪問することで、市内各幼稚園、保育園の職員と九州管楽合奏団の演奏者、ユリックス職員と三者間の絆が深まり、各園からは毎年楽しみなイベントとしての信頼感が生まれている。

このほか、各地区のコミュニティ・センターの「すくすくコンサート」において安心して開催できる会場設営・感染症対策を提案し、会場の職員の信頼を得て安心安全なアウトリーチを行った。

#### ◎with コロナだからこそ「職員研修」

今年度の職員研修は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全公文アートマネジメント研修会や地域創造ステージラボのオンラインセッション等、オンラインでの研修となったが、各職員とも積極的に研修を受講し、コロナ禍においても、持続的により良い事業展開ができるように取り組んでいる。



幼稚園、保育園向け いきいき出前コンサート 「リモートでの全園児向けライブ配信」

